



### 3歳児 ふたばぐみ

<ねらい>



- 園生活の仕方が分かり、簡単な身のまわりの始末を自分でしようとする。
- 保育者や友達と過ごしながらか、安心して好きな遊びを楽しむ。
- 夏野菜の生長を見たり、梅雨期の身近な生き物を見つけたりして、興味をもつ。



<育てたい側面>

園生活にも少しずつ慣れてきた子どもたちです。おやつが終わると自分で椅子を運んだり、脱いだスモックを畳んだり、少しずつ自分で出来るが増えてきました。時には「手伝ってー!」と大きな声で先生に助けを求める姿も見られます。自分で出来たことを一緒に喜び、認めてあげることで自信につながればいいなと思っています。

遊びの中では友達と関わるが増え、電車の線路を一緒につなげたり、シャボン玉を作っては見せ合ったりする姿が見られます。新しい遊びを経験しながら好きな遊びを見つけ、その中でいろいろな友達と楽しく過ごしてもらいたいです。みんなで植えた苗は、毎日親子で生長を確認しながら水やりをすることで大きくなり、花が咲き始めた野菜もあります。ゆっくり観察する時間を作ったり絵本や紙芝居を見たりして興味を持ち、野菜が実ることや収穫できることを楽しみに待つことができればいいなと思っています。

### 4歳児 つぼみぐみ

<ねらい>



- 梅雨期の安全な生活の仕方を知り、自分でしようとする。
- 友達に自分の思いを伝えたり、友達の話聞き入れたりしながら遊ぶことを楽しむ。
- 夏ならではの遊びに積極的に参加しようとする。

<育てたい側面>

つぼみ組に進級し、2ヶ月が経とうとしています。年中児クラスの生活の流れにも少しずつ慣れてきて、制服への着替えの仕方や身の回りの始末など、保育者に手伝ってもらいながらも自分でやろうと頑張る姿が見られます。また保育者が机を拭いたり、絵の具のカップを洗っていたりすると「先生、手伝おうか?」と手伝うことに興味をもっています。

戸外遊びでは「泡いっぱいできたよ!」「生クリームみたい!」と石鹸遊びや「なんかコーラみたい!」「色混ぜたらこんな色になった!」と色水遊びなどやってみたい遊びを自分で選んで楽しんでいます。たくさん遊んだ後、嬉しそう部屋では「今日は何して遊んだかな?」と質問すると「〇〇して遊んだよ!」「〇〇して楽しかった!」と自分なりの言葉で友達や保育者に伝えてくれます。少し照れくさくて答えられなかった友達も「〇〇ちゃんと遊んだのかな?」と尋ねると「うん!」と嬉しそうに返事をしてくれます。そしてクラスのみんで会話を楽しむ姿も多く見られるようになってきました。友達に自分の思いを伝える楽しさを感じたり、友達の話聞き入れたりしながら遊びをすすめられるようになってほしいと思います。

6月はプールが始まるなど水遊びが本格的になってきます。水・砂・土・泥などに思いきり触れ、一人一人が夢中になって、試したり発見したりする姿を大切にしながら楽しく遊ぶことができるようにしたいと思います。

### 5歳児 あおばぐみ

<ねらい>



- 友達と思いや考えを出し合いながら、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
- 様々な素材や用具に関わり、試したり工夫したりしようとする。
- 梅雨時期の自然に興味や関心をもち、遊びや活動に取り入れる。



<育てたい側面>

身体を動かすことが大好きな子ども達は、園庭に出ると「鬼ごっこしよう!」と友達を誘い、「増え鬼?」「氷鬼?」「色鬼?」と、相談したり、「鬼は10数えてから追いかけてや」とルールを確認しあったりしています。そんなあおば組の姿を見て、「鬼ごっこしたい」と異年齢児の友達の声がかかっています。異年齢児の友達に少し戸惑いを見せながらも、「タッチされたら、白帽子にするねん」とルールを伝えたり、なかなかタッチできない小さい組さんの側に近寄りタッチしやすいようにしたり、照れ屋のあおば組さんが、年長児としての優しさを一生懸命に伝えようとしています。そんな姿を見ていると、思わず微笑んでしまいます。異年齢児にやさしい気持ちで接する子ども達の思いを受け止めながら、「タッチしていいよ」「鬼一緒にする」など、気持ちが相手に伝わりやすいように言葉で思いを伝える大切さを伝えていきたいです。また、水を使っての遊びが楽しい季節になってきています。色水遊びでは、出来たきれいな色水を見て「ジュース屋さんしよう」と、話す友達に気付くと「お金作って、買いに行くわ」「メニューもいる?」と遊びに必要な物を友達と話しながら楽しんでいます。遊びの中で自分の思いを伝えたり、友達の思いを聞いたりしながら一緒に遊ぶ楽しさを味わってほしいです。

自分たちで植えた夏野菜やおおむしの世話をしながら生長の変化に気付いたり発見したりする喜びを味わってほしいです。また、梅雨期への気候の移り変わりなどにも関心をもてるよう、子どもの思いを受け止めたり共感したりしながら関わっていききたいと思います。

